



理事長コラム

新しい年を迎えて
こぶしの会は…

「やなせたかしの世界展」ご報告
「こっから祭」ご来場ありがとうございました

居宅支援

「ふゆーちゃー忘年会」

生活介護 こっから

話し合い? お楽しみ企画?

就労移行支援 すたあと

新しい挑戦

就労継続B型 ここに

仕分け人、ここに

ご寄贈

編集後記

新しい年を迎えてこぶしの会は…

社会福祉法人こぶしの会 理事長 藤井 正紀

2014 年の新年を迎え、午年にちなんで大きな飛躍をと思っているうちにもう 2 月の声を聞くところになりました。日の過ぎる速さに戸惑う日々ですが、今年も着実に進みたいと思っています。

こぶしの会の今年の大きな目標は、法人や各施設の 5 年から 10 年先の中長期的目標を定めることになっており、いろんな部門で論議を進めていきます。

国の政策上の課題では、「障害者の権利に関する条約」（国連・障害者の権利条約）の批准が実現しましたが、この権利条約の精神に恥じないような政策や課題を実際の生活の中に実現できる施策が求められます。特に政府や国会への働きかけが、きょうされんや JDF（日本障害者協議会）の運動により、大きく展開されるでしょう。県内では、奈良県議会に対して提出されていた「差別禁止条例を求める請願」や「精神障害者の医療制度の充実を求める請願」が昨年 12 月の県議会で採択され、県の障害者政策での実現が期待されます。我々も多くの障害者団体や障害者関係者とともに運動を進めていきたいと思っています。しかしこれらの運動や課題の実現にはマイナスとなる要因も多くあります。特に最近の政府の社会福祉の理念の否定や軽視の姿勢とは大きく対立することになるでしょう。また世間の障害者問題に対する無理解や無関心という課題や地域生活の面からみると家族中心の障害者支援という実態があり、我々にとっての課題も少なくありません。

改めて、「障害者の権利条約」についての私なりの解釈を書いておきます。「障害者の権利条約」批准の

一番大切な理念は、「私たち抜きに私たちことを決めないで！」と「障害を持たない他の市民との平等を」という 2 つの基本的な考え方です。これらの考え方は、世界の国々でも、日本の政府でも、都道府県や市町村でも貫いていくべきものです。また行政レベルだけではなく、こぶしの会のような障害者事業所や障害者を抱えている家庭や地域でも大切にするべき課題です。

「私たち抜きに私たちのことを決めないで！」は、これまでの行政での法律や施策の決定のやり方そのものを再検討するものです。いくら障害者のための施策であっても、障害を持たない人のみ为中心になって決めていたこれまでのやり方を問い直すものです。障害者施策の決定段階で障害者を排除するシステムをやめ、障害者の意見を聞くことを求めています。

しかしこのやり方を貫き通すのはなかなか難しい課題です。こぶしの会の重要な決定は理事会と評議員会ですが、当法人では障害者家族の代表と障害当事者の参加を保障しています。法人側で努力していることは、会議の参加だけではなく内容を障害当事者にもわかるやり方を工夫しています。障害者事業所である「こっから」や「ここに」には仲間自治会が組織され、当事者の意見集約が行われています。また、きょうされん奈良支部では当事者たちが自主的な団体である「あかつき」を組織し自分たちの要求や意見を基にした会合を行っています。これらの実践は目立たない地味な活動ですがとても大切なものだと考えています。きょうされん奈良支部では独自で奈良県との話し合いを毎年行っており、県内でも重要な取り組みだと思っています。

今後の課題としては、コミュニケーションのできない仲間や障害の重い人の願いや意見をどのように吸い上げるか、また他の障害者との連携や交流をどのように行うかなどがあります。

二つ目の「障害を持たない他の市民との平等を」は、新たな課題を私たちにつきつけています。それは、働く場や暮らしの場に顕著に表れています。

就労問題でいえば現行の労働法規は障害のない人を前提としており、障害者を全く意識していません。したがって障害者は現行労働法規に、全面適応できるか不適応かの二者を選ぶようになっており、どのような重い障害を持ってもそれへの配慮もなく、例えば障害者の労働時間は、妊婦の場合の労働時間軽減措置もありません。したがって障害者は就労できず、「ここに」のような福祉就労という就労形式がとられ、月収2万円以下の低賃金が押し付けられることになってしまうのです。もっとひどいのは「こっから」でのパンや豆腐やクッキー班のように実際働いているのに生活介護という働かない制度に押しこまれており、制度的には給料は払わなくてもいいということになっています。

これに対して「障害者優先調達推進法」ができ、これは国や地方自治体や企業の仕事を障害者事業所に優先的に回そうとする法律ですが、こぶしの会のような小さな規模の事業所にはなかなか回ってこず工賃アップには結びつきそうにありません。今後この法律の趣旨を生かすためには県などは、障害者への仕事を工夫することと、発注する仕事をなるべく小分けして多く

の事業所に回すなどの課題が検討されなければなりません。

暮らしの問題では、多くの障害者支援が家族に依存していることや、親の高齢化により支援が難しくなり兄弟や親せきぐるみの支援を考えざるをえない問題など大変複雑です。年金や働く賃金の確保など国や社会に対する運動をもっと行なわなければなりません。

同時に、こぶしの会や家族を含む地域社会での交流、共同、助け合いが必要です。その課題は、親亡き後の独り暮らしや、年金など経済的な管理などであり、障害者が地域で暮らすことを保障することではないでしょうか。日本の現状を見ても、高齢者の介護や障害者支援はどうしても家族が中心に援助してきましたし、家族がこの問題の基本になることは必要です。しかし、家族依存だけで問題が解決しないことも事実です。家族依存から施設や事業所がデイサービスをもっと利用することが大切です。またサービスを利用するだけでなく、そこに参加する障害者や家族やその地域の住民がお互いに援助し、援助される関係が必要です。この共同組合的組織やシステムこそが今後の障害者支援を支えていくあらたなシステムだと思っています。

こぶしの会では、日中活動支援・ヘルパー支援・ケアホーム・ショートステイ支援・相談支援などの事業を行って、この事業への利用者・家族・職員が中心になって活動しています。その周りにも、後援会員・賛助会員も多数集まっています。ここにこそ未来への展望があります。「障害者を真ん中に包み込んだ地域社会を」、そんな新しい社会を作り上げたいものです。

みんな大好き アンパンマン

やなせ たかしの 世界展

2013 7.25(水) ▶ 8.18(日)

AM:10:00 ~ PM:17:30 (入館は17:00まで)会期中は休館日なし

奈良市美術館 イトヨーカドー奈良店5階

ご 報 告

展覧会にご来場下さってありがとうございます。私の展覧会にはむづかしい絵は一枚もありません。いつも皆さんに楽しんでいただきたいと思います。と思って仕事をしています。

アンパンマンは生まれてから四十年、アニメになってから二十五年ですから親子三代にわたるファンもいます。不思議な事に生まれたばかりの一歳未満の赤ちゃんにも人気があるのはこの世界でアンパンマンだけなので、作者としても驚いています。生まれた赤ちゃんが最初に覚えたことばが「アンパンマン」というのは世界中で例がありません。

この展覧会では皆さんに「来てよかったね」と言ってもらえたらと思っています。でもそれはとてもむづかしい事なので、展覧会をするたびにうまくいきますようにと祈っています。

きびしい世の中ですがひとときをお楽しみいただければ幸いです。

平成二十五年七月

やなせたかし



やなせたかしさんから学んだこと

去る10月13日、アンパンマンの生みの親で、童謡「てのひらを太陽に」の作詞者でもあるやなせたかしさんがお亡くなりになりました。94歳でした。

昨年7月25日から8月18日までの25日間にわたって私たちこぶしの会では「やなせたかしの世界展」を奈良市美術館にて開催させていただくことができました。140点以上もの貴重な原画作品を紹介するこの展示会は社会福祉法人としては全国初の取り組みとなり、開催にあたっては、やなせたかしさんからの応援メッセージもいただき、6,000名(うち延べ500名のボランティア等を含む)にも及ぶ来場で大盛況をおさめることができました。

このイベントを通して私たちが学んだことがあります。それは、アンパンマンをはじめとする、やなせさんの作品すべてに貫かれた平和への思いと生命を大切にするという生き方です。

今回このようなご縁に恵まれた私たちは、やなせさんの願いを受け継ぎこれからの活動につなげていきたいと思います。やなせたかしさん、これまで多くの子どもたちや私たちに夢と勇気をありがとうございました!!

収益の一部(10万円)を東北被災地の障害者支援として『きょうされん自然災害支援基金』へ寄付いたしました。

来場者からの やなせ先生へのメッセージより

●うちの3歳になる息子はアンパンマンが大好きです。おもちゃを取るのも色んなところでアンパンマンの力をおかりしました。七夕の夢も「アンパンマンになること」です。母は喜んでいますが、自分を犠牲にしても人の為に役立つ人になって欲しいと心から願っています。

(41歳 女性)

●私はアンパンマンが大好きです。小さい時病院に行った時、鼻のきゅういんがこわくて、いつも大きな声で「アンパンマン」とさけんでいました。するといたくなくなりました。これからもずっと好きです。

(10歳 女性)

●「なんのために生まれて、なんのために生きるのか」最近少～しだけわかってきたような気がします。「最愛の人を愛し抜き、目の前のこどもを守る」アンパンマンにはなれないけれど自分なりの愛と勇気を持って毎日を生きていこうと思っています。

(32歳 男性)

●わがママを言わない、やさしいアンパンマンみたいな人にはどうすればなれますか?

(8歳 女性)

●やなせたかし先生へ 今日はとっても心がいやされました。私は障がいを持つ子どもの母です。まだまだ希望があると信じて生きていきたいと思いました!!アンパンマンの様に勇気を持って!!

(42歳 女性)

障害者支援事業所
コミュニティワーク

第12回

こっから

祭

2013

10月27日(日)

朝10時～4時まで
(雨天決行)

ご来場ありがとうございました。

第12回こっから祭を去る10月27日、たくさんの方々にご来場いただき無事開催することができました。台風の接近で天候が心配されましたが当日は気持ちの良い秋晴れとなり、数年振りに雨が降らないお祭りとなりました。今回も約800名(主催者、関係者を合わせると約1,000名)のご来場で赤ちゃんからお年寄りまで3世代に楽しんでいただくことができました。

また今年はステージがトラックの荷台を利用したものに変わりました。これは、毎年家族会の皆さんが中心となり数日間かけておこなう屋外ステージの設営が年々負担となってきたため、今後の祭の継続を考えての変更でした。結果として、ひな壇型になったステージは会場全体から見やすく大成功となりました。オープニングの都南中学校吹奏楽部の皆さんから最後のこっからオールスターズまで、ステージを盛り上げてくださった出演者の皆様、ありがとうございました。

その他にも、奈良市中央図書館スタッフの皆さんのご協力で初登場となった絵本ギャラリーと人形劇。日本に1台しかないというソフトクリーム製造車「日世ソフトドリームカー」と「こっからとうふ」とのコラボで実現した豆乳ソフトクリームはやさしい味と大好評でした。

地域の方々からは今回もテントやイスなどの備品、駐車場を貸していただき、またボランティアでの参加協力など、あらためてこぶしの会を支えてくださる多くの方々の存在を実感することができました。準備から後片付けまで、ご協力下さった全ての方に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



センコー物流株式会社様のご協力で今年からトラックがステージに!!
舞台が見やすいと大好評でした。



ソフトクリームメーカーの日世様のご協力で、こっからとうふ工房とのコラボが実現!!
豆乳ソフトクリームが完成しました。



奈良市中央図書館様のご協力で、
食堂が絵本ギャラリーになりました。

N^{居宅}ews

Caring home

ぐうぐうハウス・ひまわり・かたつむり

ふゅーちゃー忘年会

年末の仕事収めの日、ふゅーちゃー企画の忘年会に行ってきました。普段、かたつむりを利用されている方やケアホーム入居者の方、スタッフなど、総勢32人での焼肉パーティー。忘年会ということで、お酒もOKでした。皆でわいわいとお肉を焼き、カクテルでほんのり顔が赤らんでいる人も。

外は雪もちらつく寒い日でしたが熱気にあふれた楽しい忘年会になりました。

(藤井 浩司)



N^{生活介護}ews

Life nursing

とうふ工房 こっから

話し合い？ お楽しみ企画？

とうふ工房では毎日とうふの製造と販売を行っています。販売では、午前中から出かけたりお昼休みに行ったりと必ずどこかの時間帯で誰かが販売に出かけています。そのために全員がそろうことが少ないので、月に1回金曜日の午後からは製造・販売をストップしてみんなで話し合いを行います。

話し合いの内容は、売り上げについてや日々の仕事で困ったことがあったことなどの発表や報告です。しかし、話し合いの中でみんなが一番楽しみにしているのは、お楽しみ企画の当番が考えるおやつ作りです。お給料の時に200円づつ出し合い買出しから企画内容までを仲間が考えます。今回はおやつ?なのに何故かお寿司!ねじりハチマキで「へい! お待ち」と一人ひとりが自分たちの分を握りました。

今迄にパフェやフルーツサンド、クレープ、肉まんなどいろいろなものに挑戦してきました。それがどれもまたおいしい。

次回はなにに挑戦するのでしょうか?

(田村 智章)



新しい挑戦



年の暮れ、企業で働く仲間からこんなメールが届きました。

「すたあとの皆さん、お元気ですか？ この12月1日に働き始めて3年目に突入です。ここまでやってこれたのは、すたあとのみなさんの励みがあったおかげです。ほくも、一日を大切にがんばります。すたあとの皆さんもがんばってください。またメールします。」

働く場所が違って、支えあう気持ちが一緒であることに、とてもうれしい気持ちです。

そして、こっからの仲間が、新天地を求めて、すたあとで実習に取り組んでいます。今までにないこぶしの会が一つになって取り組む新しい挑戦が始まりました。

長年こっからで培ってきた接客・販売・製造など得意な仕事に磨きをかけて、市役所にある福祉カフェで働くことを目標にすたあとで2ヶ月間、「共に働く」大切さを学びあっています。

12月3日に行われた、奈良県障害福祉課ときょうされん奈良支部との懇談では、こっからの仲間が「いろんなことに挑戦できるように役所の人が働く場を作ってください。そして、もっとたくさんの人が施設に受け入れられるように施設を広くしてください。」と訴えました。

12月4日に障害者権利条約が批准することを国会で承認されました。歴史の転換期に、私たちもう一度「仲間を主人公に」をかみしめ、新たな年を築いていきたいと思います。

(島 耕治)

仕分け人、ここに



いつも多くの方にご注文いただいている夏季・冬季のカatalog事業販売。これらの商品は皆さんからご注文いただいた後、職員によって集約され業者に発注、又は「こっから」「ここに」の商品についてはそれぞれの施設で必要数を準備します。商品がそろったら、お一人お一人分に仕分けをして、配達という流れになっています。

その中で、「ここに」は商品のコンフィチュールやお米、野菜ふりかけの準備はもちろん、膨大な量の商品の仕分けもやらせていただいています。仲間は商品を箱から取り出して机の上に並べ、お一人ずつの伝票を読み上げ、机の上から商品を探し出して別の所に集め、それを職員が袋に確認しながら入れていきます。

仕分けが終わった後に商品が全て無くなっていれば、それはミス無く仕分けができたという証拠なのですが、ほとんどの場合商品が残らず終われるので、とってもうれしくなります。

最初の方は商品名と商品がなかなか一致せず、探し出すのに苦労しますが、やっているうちに覚えてきて、他の仲間の担当する商品まで覚えるので、探しあぐねた時は、お互いをカバーしあいながら仕分けしていますが、それはまさにチームプレー。時には伝票を読み上げている仲間が商品を見つけ、取りに走ることも。

まだまだ頑張りますので、次回もたくさんのご注文、お待ちしております！

(新谷 和宏)

ありがとうございました！
寄 贈

<カーブス様より>

昨年“カーブス”様よりフードドライブの取り組みで多くの食料品を寄贈していただきました。

頂いた食材品は、食品製造班や活動班のお菓子づくりに活用させていただき、その他の食品や食材品は2箇所のケアホームで大切に使用させていただきます。

ご協力くださったカーブス会員の皆様本当にありがとうございました。



<イオン幸せの黄色いレシート>



イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式に参加させていただきました。

今回のキャンペーン期間中(2013年3月～8月)にイオンならファミリー店、大安寺店に設置していただいている社会福祉法人こぶしの会(又はコミュニティワークこっから)の投函BOXに投函して頂いた黄色いレシートの合計金額の1%相当の18,900円分のイオンギフトカードをご寄贈いただきました。

頂きましたご寄付は、施設利用者の皆さんの自立をめざす活動のために大切に活用させていただきます。

こぶしの会の活動を応援してくださっているイオンリテール株式会社様、そして毎月11日のイオン・デーでのお買い上げレシートをこぶしの会(こっから)BOXに投函してくださる多くの皆様に心から感謝いたします。

編集後記

「ナマコを最初に食べた人は偉い」という言葉をよく聞きます。でも本当に偉いのは、実は2番目に食べた人ではないのかと思うのです。最初に食べた人は、どうしても食べたかった、もしくは食べざるを得なかった…という何らかの動機があったはず。当然周りからは好奇の目で見られたことでしょう。そこで2番目です。未知の食材を食することに加え、変人の仲間入りをするというさらに高いハードルをも乗り越える勇気が必要となります。けれども結果、2番目に続いた人がいたから

こそ、最初の一人がただの変人のままで終わらず、さらに3番目、4番目へと広がっていくキッカケ作りをしたことを考えると、その功績の大きさはもっと評価されてもいいのではないのでしょうか。どんな世界でも、誰もがやったことのないものにチャレンジする人間はいつでも正当な評価はされにくい。いちばん最初の支持者の存在が、一人の変人を勇気ある先駆者へと変える。最初の共感者になれる勇気と行動力を持つ人間になりたい…そんなふうに思います。(古木 一夫)

こちらも
ご覧下さい

<http://kokkara.jp/>

- ・ネットショップ
- ・活動ブログ
- ・ニュースブログも楽しみ下さい。